

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2009.4.25 No. 42 連絡先 042-555-1911



青空のもと 第1回横田基地の撤去を求める“座り込み行動”行われる！



4月19日、福生市の国道16号沿いのフレンドシップパークで、第1回横田基地の撤去を求める“座り込み行動”が行われました。

昨年8月に発足した「横田基地の撤去を求める西多摩の会」が呼びかけたものです。

会の松山清代表は「横田基地撤去を多くの市民にアピールしようと座り込みをすることになった。行動を広げる歴史的な一歩に」とあいさつしました。参加者は約60人。



参加者からは「憲法9条のある国に基地はいらない」「米軍基地の整備に使う税金を社会保障にまわすべきだ」など、発言が相次ぎました。懐かしい歌もうたい、最後は、基地に向かって、声高々にシュプレヒコールをしました。

(写真提供：横田基地の撤去を求める西多摩の会)

神奈川県平和委員会から連帯のメッセージ (要約しています)

首都圏の米軍基地の危険な役割がますます強化されるなかで、基地の撤去を求めて行われるみなさんの行動に、励ましと連帯を強く感じます。首都圏の基地撤去をめざし、連帯し行動しましょう。

神奈川・厚木基地でも、「静かな空を返せ！爆音なくせ！」と7000人を超える人たちが第4次爆音訴訟を起こしました。国は「いやなら引っ越せば被害を受けなくてすむ」などと、とんでもないことを言い出しました。憲法が保障する「平和に生きる権利」の侵害です。許せません。

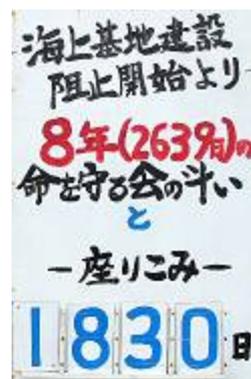
爆音の元凶となる横須賀では、米原子力空母ジョージ・ワシントンの原子炉整備が、日米合意を無視して行われ、すでに1トンもの放射能に汚染された廃棄物が持ち出されました。政府はこのような不当な合意無視の行為を黙認し、国民の安全を脅かすことに抗議の声がわき起こっています。

私たちも「平和で静かな空を返せ！」と1981年1月から毎月第3日曜日に抗議の市民平和行進を行ってきました。28年間1回も欠かさず続けてきました。これは神奈川県民の誇りです。これからもねばり強く基地撤去の実現をめざし、ともに闘いつづけましょう。心から連帯の挨拶を送ります。

練馬平和委員会は、ポスター持って参加



みんなで作ってくれたポスターです。翻訳すると「米軍人、軍属の皆さん、あなた方は家族と共に祖国であるアメリカ合衆国に戻りなさい、私たちはあなた方の植民地の奴隷ではありません。」



名護・辺野古では

左の立て看板は、4月22日のものです。海上基地建設阻止で2639日闘い、さらに監視行動で1830日の座り込みが行われています。そして今、新たな闘いが…。(裏面に続く)

辺野古に新米軍基地は許さない！環境アセス準備書への意見書提出を！ 平和と環境を守る声を届けよう！



沖縄県名護市辺野古に計画中の米軍の新基地建設に伴って防衛省は現在、環境影響評価（アセスメント）準備書を公告縦覧しています。なんと、この環境影響評価（アセスメント）準備書は 5400 ページもあり、3 冊に分かれています。（左写真）

市民に縦覧させるといっても、とても読めるような分量ではありません。貸し出しもしません。ホームページにのっているので、それを見なさい、というのです。

「市民に分かるように説明会開催を」の声に、沖縄防衛局は住民説明会を 22 日、名護市で開きました。説明会で沖縄防衛局は、「2014 年末までに完成させることができるように着実にあらゆる努力を払う」とのべ、騒音、水質、海域生物（ウミガメ、サンゴ類、ジュゴン等）などについて説明しました。騒音については、集落で 70 デシベル以下になり影響ないとしました。参加者からは、「デモフライト（実機飛行）しないと分からない」と厳しい言葉が飛びました。

サンゴを埋め立て、ウミガメの卵のふ化が確認された場所に基地を建設するにもかかわらず「影響は総じて少ないものと判断」と強弁。住民からは「そんなの信用できない」との声が飛びました。ジュゴンについては「時折（建設予定地に）移動する程度」と説明。「事前調査で追い出しといて何を言っているんだ」と住民から批判があがりました。

質問の手が挙がるなか、同防衛局は、2 時間で説明会を打ち切りました。住民はさらなる説明会開催を要求しました。

意見書受付期間は 5 月 2 日から 15 日までです。安保破棄中央実行委員会と日本平和委員会は、期間は短いものの意見書運動が世論に与える影響は大きいので、みんなで意見書を提出しようと呼びかけています（右参照）。

地元でも、5400 ページ以上の意見書を出そう！と、取り組んでいます。

アセス準備書への意見書を全国から 学習連帯集会in東京

日時 4 月 28 日（火）午後 6 時 30 分から

会場 全労連会館 JR 御茶ノ水駅下車徒歩 5 分

内容 アセス準備書を切る

花輪伸一 世界自然保護基金(WWF)ジャパン

赤嶺政賢 日本共産党衆院議員 国会報告
(グアム、海賊、沖縄)

山田義勝 沖縄賢統一連事務局長
沖縄からの訴え

情報開示の航空総隊司令部の建築図面は 真っ黒に塗られていた！

情報開示を求めていた図面を見てびっくり。A 1 版の用紙（新聞を広げた大きさ）の図面 20 枚が全部、真っ黒に塗られていました。先に届いていた「不開示とした部分とその理由」には「各階の平面図・立面図・配置図・矩計図・断面図の図面内容については、防衛省・自衛隊の施設の構造、性能、強度又は配置に係る情報であるため、これを明らかにすることにより当該施設の防御能力が推察され、防衛省・自衛隊の任務の効果的な遂行に支障を生じさせるおそれがあることから、法第 5 条第 3 号に該当し不開示とします。」と書かれていました。開示されたのは建築計画概要書 A4 版 4 枚だけです。



（座り込みの場所に図面が公開）